



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 ユナイトアンドグローウ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4486 URL <http://www.ug-inc.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 須田 騎一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 岡 美恵子 (TEL) 03-5577-2091  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,222	6.8	144	△20.5	144	△20.5	106	△20.3
2022年12月期第2四半期	1,143	16.9	182	35.5	182	35.6	134	43.5

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 106百万円(△20.3%) 2022年12月期第2四半期 134百万円(43.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	27.34	26.94
2022年12月期第2四半期	36.03	34.00

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	2,423	1,645	67.9
2022年12月期	2,366	1,599	67.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,645百万円 2022年12月期 1,599百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2023年12月期	—	0.00			
2023年12月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,676	14.6	382	17.9	381	17.9	276	16.1	70.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	3,942,200株	2022年12月期	3,936,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	28,075株	2022年12月期	28,075株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	3,908,994株	2022年12月期 2 Q	3,720,731株

(注) 期末自己株式数には、従業員向け株式交付信託が所有する当社株式を含めております（2022年12月期 28,000株、2023年12月期 2 Q 28,000株）。また、期中平均株式数の計算においては、従業員向け株式交付信託が所有する当社株式を控除する自己株式を含めております（2023年12月期 2 Q 28,000株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年8月14日に四半期決算説明資料を当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(収益認識関係) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行される等、経済活動への影響が軽減され、景気は持ち直しの傾向にあります。一方、ロシア・ウクライナ紛争の長期化や、世界的な物価高と金融引き締めによる世界経済の減速要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、企業のコーポレートIT部門及び人材への旺盛なサービス需要に応えるべく、人材採用及び人材育成の強化や特化型サービスの開発に継続して取り組んでまいりました。主力事業であるコーポレートIT総合支援においては、サービス改編に伴う既存会員との契約更改を行い、当第2四半期連結会計期間より改定価格の適用を開始し、これにより1時間あたりの平均単価が上昇いたしました。また、コーポレートロゴリニューアルや従業員の処遇の向上策を実施し、採用競争力の強化を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,222,034千円（前年同期比6.8%増）、営業利益144,733千円（前年同期比20.5%減）、経常利益144,763千円（前年同期比20.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益106,880千円（前年同期比20.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「インソーシング事業」及び「セキュリティ事業」から、「コーポレートIT総合支援」、「コーポレートIT内製開発支援」及び「キャッシュレスセキュリティ・コンサルティング」に変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、セグメント変更後の区分に基づいております。

#### ① コーポレートIT総合支援

中堅・中小企業のコーポレートIT部門を対象とした人と知識をシェアする会員制の「シェアード社員サービス」を提供しております。従来の「インソーシング事業」から名称を変更しております。

当第2四半期連結会計期間においては、サービス利用規程のバージョンアップによるサービス料金の価格改定を実施し、全ての会員に改定価格でのサービス提供を開始いたしました。

これにより、会員数は670社（前年同期比32社増）、そのうち実働会員数は205社（同16社減）と減少したものの、今回の契約更改に伴い計測可能となった実働会員の関連会社支援社数が57社あり、実質支援社数は262社となっております。

また、シェアード社員数は202人（同25人増）となり、シェアード社員の稼働1時間あたりの売上高は8,439円（同4.8%増）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高1,096,145千円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益398,317千円（前年同期比4.0%減）となりました。

#### ② コーポレートIT内製開発支援

シェアード社員サービスをベースとして、ローコード開発ツールを活用した各種社内システムの内製開発を支援しております。今年度より特化型事業として従来のインソーシング事業セグメントより独立区分いたしました。保守メンテナンスを充実させ、内製開発に特化することによりノウハウを蓄積し、顧客側にもノウハウを残すことを目的としております。

コーポレートIT内製開発支援のシェアード社員数は5人であり、シェアード社員サービスの既存会員を中心に、既存システムの改修やローコードツールベースのシステム構築等、案件の拡大に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高52,277千円（前年同期比48.8%増）、セグメント利益25,991千円（前年同期比35.9%増）となりました。

## ③ キャッシュレスセキュリティ・コンサルティング事業

キャッシュレスサービスを提供するまたは利用する事業者を対象に、データ保護対策のコンサルティングサービス及び教育・研修サービスを提供しております。従来の「セキュリティ事業」から名称を変更しております。

コンサルティングサービスにおいては、2024年3月を期限とするPCI DSSの新バージョンへの移行支援案件の対応を順次進めております。また、PCI DSS審査対応を年間で平準化して行うサブスクリプション型のサービス（オンラインレビュー<sup>®</sup>）が堅調に推移しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高73,611千円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益9,528千円（前年同期比151.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,423,215千円となり、前連結会計年度末に比べ56,485千円増加いたしました。

流動資産については、前連結会計年度末に比べ54,854千円減少し、2,121,844千円となりました。これは主に、現金及び預金48,231千円及び売掛金5,853千円の減少によるものであります。

固定資産については、有形固定資産が74,631千円、無形固定資産が162,670千円、投資その他の資産が64,069千円となり、前連結会計年度末に比べ111,340千円増加し、301,370千円となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定117,700千円の増加、建物2,675千円、ソフトウェア1,808千円及び繰延税金資産1,463千円の減少によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は777,758千円となり、前連結会計年度末に比べ10,702千円増加いたしました。

流動負債については、前連結会計年度末に比べ7,480千円増加し、748,754千円となりました。これは主に、短期借入金50,000千円の減少、未払金33,782千円及び契約負債32,437千円の増加によるものであります。

固定負債については、前連結会計年度末に比べ3,221千円増加し、29,003千円となりました。これは主に、株式給付引当金4,354千円の増加、その他固定負債1,149千円の減少によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,645,457千円となり、前連結会計年度末に比べ45,783千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益106,880千円の計上及び利益剰余金62,987千円の配当によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末と比べて35,925千円減少し、1,451,792千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は79,825千円（前年同四半期は得られた資金50,297千円）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上144,763千円、減価償却費6,444千円及び契約負債32,437千円の増加であり、おもな減少要因は、未払金の減少額82,396千円、法人税等の支払額39,149千円の支出によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3,504千円（前年同四半期は使用した資金16,457千円）となりました。主な増加要因は、定期預金の払戻600,012千円の収入であり、主な減少要因は、定期預金の預入600,017千円、有形固定資産の取得1,053千円及び無形固定資産の取得2,015千円の支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は112,246千円（前年同四半期は得られた資金18,154千円）となりました。主な増加要因は、新株予約権の行使による株式の発行1,890千円の収入であり、主な減少要因は、配当金の支払額62,987千円の支出によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,136,439	2,088,207
売掛金	17,867	12,014
貯蔵品	380	329
その他	22,012	21,293
流動資産合計	2,176,698	2,121,844
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	64,226	61,551
その他（純額）	13,986	13,079
有形固定資産合計	78,213	74,631
無形固定資産		
ソフトウェア	7,289	5,480
ソフトウェア仮勘定	37,840	155,540
その他	1,155	1,650
無形固定資産合計	46,284	162,670
投資その他の資産		
繰延税金資産	14,703	13,240
その他	50,828	50,828
投資その他の資産合計	65,532	64,069
固定資産合計	190,030	301,370
資産合計	2,366,729	2,423,215

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,955	5,970
短期借入金	50,000	—
未払金	135,161	168,944
未払法人税等	46,966	46,466
契約負債	412,651	445,089
賞与引当金	—	15,000
その他	88,538	67,284
流動負債合計	741,274	748,754
固定負債		
株式給付引当金	7,564	11,919
資産除去債務	12,268	12,284
その他	5,948	4,799
固定負債合計	25,781	29,003
負債合計	767,055	777,758
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	344,342	345,287
資本剰余金	323,487	324,432
利益剰余金	970,832	1,014,725
自己株式	△38,988	△38,988
株主資本合計	1,599,673	1,645,457
純資産合計	1,599,673	1,645,457
負債純資産合計	2,366,729	2,423,215

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,143,872	1,222,034
売上原価	572,798	634,622
売上総利益	571,073	587,412
販売費及び一般管理費	389,067	442,679
営業利益	182,006	144,733
営業外収益		
受取利息	9	13
物品売却益	205	10
未払配当金除斥益	—	95
その他	—	0
営業外収益合計	215	120
営業外費用		
支払利息	70	82
株式交付費	—	7
営業外費用合計	70	90
経常利益	182,150	144,763
税金等調整前四半期純利益	182,150	144,763
法人税、住民税及び事業税	42,239	36,418
法人税等調整額	5,844	1,463
法人税等合計	48,084	37,882
四半期純利益	134,066	106,880
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,066	106,880

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）
四半期純利益	134,066	106,880
四半期包括利益	134,066	106,880
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,066	106,880

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	182,150	144,763
減価償却費	7,116	6,444
受取利息	△9	△13
支払利息	70	82
売上債権の増減額 (△は増加)	4,896	5,853
棚卸資産の増減額 (△は増加)	77	50
信託預金の増減額 (△は増加)	—	12,311
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2,769	1,149
仕入債務の増減額 (△は減少)	△633	△1,984
未払金の増減額 (△は減少)	△81,905	△82,396
前受金の増減額 (△は減少)	△404,308	—
契約負債の増減額 (△は減少)	431,739	32,437
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,000	15,000
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	4,354
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△27,079	△18,999
その他	15	15
小計	119,362	119,068
利息の受取額	9	13
利息の支払額	△70	△107
法人税等の支払額	△69,004	△39,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,297	79,825
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15,011	△600,017
定期預金の払戻による収入	15,010	600,012
有形固定資産の取得による支出	—	△1,053
無形固定資産の取得による支出	△16,455	△2,015
その他	0	△430
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,457	△3,504
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△50,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	63,910	1,890
配当金の支払額	△44,606	△62,987
その他	△1,149	△1,149
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,154	△112,246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	51,994	△35,925
現金及び現金同等物の期首残高	1,734,897	1,487,718
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,786,892	1,451,792

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（賞与引当金）

当第2四半期連結会計期間末においては賞与支給額が確定していないため、賞与支給見込額のうち、当第2四半期連結累計期間の負担額を賞与引当金として計上しております。なお、前連結会計年度末においては、賞与支給確定額54,900千円を流動負債の未払金として計上しております。

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引）

当社は、2022年11月14日開催の取締役会において、当社従業員を対象としたインセンティブ・プランとして「従業員向け株式交付信託」（以下「本制度」といいます。）を導入しております。

（1）取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託（以下「本信託」といいます。）を設定し、本信託が当社普通株式（以下「当社株式」といいます。）の取得を行い、従業員のうち一定の要件を充足する者に対して付与されるポイントに基づき、本信託を通じて当社株式を交付するインセンティブ・プランです。当該ポイントは、当社取締役会が定める株式交付規程に従って、従業員の表彰等に応じて付与されるものであり、各従業員に交付される当社株式の数は、付与されるポイント数により定まります。本信託による当社株式の取得資金は、全額当社が拠出するため、従業員の負担はありません。

（2）信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末38,863千円、28,000株、当第2四半期連結会計期間末38,863千円、28,000株であります。

（セグメント情報等）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コーポレートIT 総合支援	コーポレートIT 内製開発支援	キャッシュレス セキュリティ・ コンサルティング	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,036,111	35,130	72,630	1,143,872	—	1,143,872
外部顧客への売上高	1,036,111	35,130	72,630	1,143,872	—	1,143,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,565	—	—	18,565	△18,565	—
計	1,054,676	35,130	72,630	1,162,438	△18,565	1,143,872
セグメント利益	414,750	19,130	3,791	437,672	△255,666	182,006

（注） 1. セグメント利益の調整額△255,666千円には、セグメント間取引消去△18,565千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△237,100千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コーポレートIT 総合支援	コーポレートIT 内製開発支援	キャッシュレス セキュリティ・ コンサルティング	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,096,145	52,277	73,611	1,222,034	—	1,222,034
外部顧客への売上高	1,096,145	52,277	73,611	1,222,034	—	1,222,034
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,015	—	5,500	17,515	△17,515	—
計	1,108,160	52,277	79,111	1,239,550	△17,515	1,222,034
セグメント利益	398,317	25,991	9,528	433,837	△289,104	144,733

（注） 1. セグメント利益の調整額△289,104千円には、セグメント間取引消去△17,515千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△271,588千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「インソーシング事業」は「コーポレートIT総合支援」に名称を変更し、「インソーシング事業」に含まれていた「コーポレートIT内製開発支援」を報告セグメントとして記載しております。この変更は、これまでもインソーシング事業の総合的なサービスメニューの一つとして提供していたシステムの内製開発支援を、特化型サービスとして単独事業化したことによるものです。また、「セキュリティ事業」は「キャッシュレスセキュリティ・コンサルティング」に名称を変更しております。その結果、従来の「インソーシング事業」「セキュリティ事業」の2区分から、「コーポレートIT総合支援」「コーポレートIT内製開発支援」「キャッシュレスセキュリティ・コンサルティング」の3区分に変更しております。

また、第1四半期連結会計期間より、各セグメントをより実態に即した費用負担で管理するために、全社費用に含まれていた費用の一部を「コーポレートIT総合支援」に含めて記載しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。